

天蒼外雲

題字 雲外蒼天 揮毫 西条市立丹原東中教諭 中川 知子 解説は3面



発行所 (公財)愛媛県教育会
〒790-8545 松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 潮見小学校
- (3) 地区教育会たより(内子) ローカルトピックス
- (4) (5) 特集「私の健康法」
- (6) (7) 特集「初任者の声」
- (8) ふるさとスケッチ

昔から大切にされてきた「残心」



前伊予教育会会長 小田 直行

平成30年度第66回全日本剣道選手権が11月3日に日本武道館で行われ、熊本県警29歳の西村英久6段が2年連続3度目の優勝に輝いた。

この大会の少し前、NHKの「グッとスポーツ」という番組に西村さんが出演していた。そこで、彼が最も大切にしているのは、剣道の教えの「残心」であり、手本として対戦した警視庁の内村良一7段だと話された。恥ずかしい話だが、「残心」という言葉が剣道のルールブックに載っていることを知らなかった。サッカー、ラグビー、野球、卓球などほとんどのス

ポーツは勝利至上主義というか、勝った瞬間、負けた瞬間に喜びや悔しさを爆発させている。観客もそれを見て同じように喜び、興奮する。だが、こと武道に関しては事情が異なる。剣道の試合では、技を決めた後も気を緩めず、相手への敬意、次に備える姿勢がなければ一本とはならない。また、一本とつてもガッツポーズやVサインをすると一本は取り消される。勝敗の喜びや悔しさといった感情をあらわにすることは「残心がないふるまい」で、武道精神に反すると判定されるからだ。調べてみると、「残心」の精神は武道だけでなく、「茶道」や「舞踊」にも通じ、一つの動作を終えた後も心が途切れないようにすることが求められる。

武道や芸道だけでなく、コンビニの店員がお釣りを渡すとき下に手を添える。エレベーターを降りるときに扉を閉じるボタンを押して降りる。会った人と別れるときにしっかりと見送り挨拶をする。等日常生活の中で、相手を敬い心配りをするのが、「残心」を活かすことになる。と具体的な説明があった。

平成という元号も終わりを迎えようとしているが、さまざまな課題の解決策が見通せない。何かと気ぜわしく、いらいらした気分となること多いこの時期こそ、昔から日本で大切にされてきた「残心」に目を向けて実践したい。

一略 歴一

(おだ・なおよき)

- ・平成10年 中島町立天合小学校校長
- ・平成11年 松山教育事務所管理主事
- ・平成15年 松山教育事務所長
- ・平成18年 伊予市立北山崎小学校長
- ・平成20年 定年退職
- ・(財)愛媛県教育会事務局 情報文化・法人運営部長
- ・平成25年 伊予教育会副会長
- ・平成28年 伊予教育会会長

聞 ぶきょう 響

平成最後の年がもう1か月過ぎた。今年から30年前、平成元年に告示された学習指導要領で基本理念とされたのは「自ら学ぶ意欲と社会の変

化に主体的に対応できる能力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、個性を生かす教育の充実に努めなければならない」というフレーズであった▼ここに示されている教育の理念は現在においてまったく色あせることはない。しかし、30年間に教育界が歩んだ道は平坦ではなかった。いわゆる「ゆとり教育」の実施、その批判から「学力充実」へ。そして道徳の教科化や小学校への外国語科の導入、等々▼都度に教育現場は対応に追われ、確かな評価も経ぬまま次の課題への対応に忙殺されてきたように思う。しかし、例えば今回の学習指導要領で強調されている「主体的・対話的で深い学び」は、30年前の基本理念が目指していた学習活動と具体的にどう違うのであろうか▼子どもたちが学ぶ意欲を持ち、学習内容をきちんと身につけ、次代を生き抜く力を発揮できるように日々の学習活動を充実させる。昔も今も、そして次の時代も教師の仕事の基本は全く揺るいではないと思う。

ひとこと

至誠



松浦 秀樹
愛媛県小中学校長会
副会長

がある。揮毫者は、「宮澤喜一」。第78代内閣総理大臣である。どういふ経緯で元総理の書が本校に贈られたのか定かではない。

平成30年は、スポーツ界のパワハラや暴力等が、次々と問題になった。マスコミの報道をみると、不祥事やトラブルそのものよりも事後対応を大きく扱っていることがある。説明拒否、言い逃れ、雲隠れ、隠ぺい、責任転嫁等の不誠実な言動が非難され問題の解決を難しくしている。

学校でも、日々いろいろなトラブル等は起きるが、生徒の教育活動に影響が及ばないように、早期解決を図らなければならぬ。そのためには、よく話を聞き、事実を迅速かつ正確に把握し、誠意をもって対処し、再発防止を徹底するように心掛けていく。

ところで、本校の校長室には「至誠通天」と書かれた額

「至誠通天」とは、「誠を尽くせば、願いは天に通じる」という意味らしい。「至誠」は、幕末に松下村塾で吉田松陰が説いた言葉だと言われている。「至誠而不動者未之有也」(誠の心をもって尽くせば動かなかった人など誰もいない)という孟子の教えの一部だという。

松下村塾からは、明治維新で活躍する多くの人材が育っている。松陰が、松下村塾で教えたのはわずか2年間ほど。影響力の大きさに驚く。

生徒たちは、中学校で3年間学ぶ。教職員は、予測不能の時代を生き抜いていく力を身に付けさせるべく、日々懸命に教育している。松陰ほどの影響力をもって感化することはできないが、「至誠」をもって一人一人と向き合い、たくましい生徒を育てたいと思っている。

(鬼北町立広見中学校長)

学校紹介

松山市立潮見小学校

二つの宝



し、昭和38年に潮見小学校が青少年赤十字に加盟したこと

を記念して植えられたものが、このホソイトスギです。平成元年に確認されたソルフエリーノの丘を起源とするホソイトスギは全国で50本、愛媛県では、潮見小学校のホソイトスギだけでした。現在赤十字奉仕団の方々に

潮見小学校は松山市の北西部に位置し、創立144年目を迎えた児童数663名の規模校です。潮見小には、ホソイトスギとダンの二つの宝

があります。正門を入ると目に飛び込んでくるのが、4階建ての校舎

よりも高く、天に向かってまっすぐに伸びているホソイトスギです。昭和34年に日本の赤十字

100周年を記念して、イタリアのソルフエリーノの丘で採取された種子が全国に配られました。その種子が発芽

は動物を飼えない決まりでしたが、「盲導犬は、目の見えない人を助けてくれるのに、目の見えない犬はどうして捨てられるの？」の二人の少女の言葉に町内会長さんが応え、団地の住人たちを説得し、団地でこの犬を飼うことにしました。団地で飼う犬なので名前は「ダン」となりました。

子どもたちとダンの交流は、本や紙芝居、テレビ、新聞などを通じて全国に知られるようになり、道徳の教科書にも掲載されています。

平成17年、創立130周年の記念事業として石像が設置されました。その翌年、「ダン」は13歳でなくなりましたが、3年生の総合的な学習や全校での「ダンちゃん集会」、命日(11月15日)の献花などを通して、ダンに関

わったたくさんの方の優しさや思いやりの心を、潮見の宝としてしっかり受け継いでいきます。

(教頭 下東 裕文)

題字に寄せて

雲外蒼天



中川 知子
東原市丹波市
論教 西条

「雲外に蒼天あり」は、暗雲の外に出れば、蒼穹（あおぞら）は、広くあたたかく広がっているという意味です。もうすぐ3月。別れの季節がやってきます。義務教育を終えた教え子たちは、それぞれの夢に向かって大空を羽ばたいて行きます。生きていれば、大変なことや嫌なことの方が多いけれど、それでもくじけずに努力すれば、必ずいいことがあります。この言葉を、彼らに贈りたいと思います。「雲外蒼天。強く逞しく、生きぬいてください。あなたたちの未来に、幸多かれと祈ります。」

地区教育会
だより

内子教育会

将棋ブームに
乗って



河野 敏男
中崎五十町内子
校長 校



内子教育会では、毎年囲碁教室を開催し、町内の小中学生に囲碁の面白さを伝えてきました。藤井聡太プロの活躍によってブームを巻き起こしている将棋も取り入れてみてはどうかというアイデアで、今年

は、「囲碁・将棋教室」と銘打って取り組むことになりました。小中学校に案内状やポスターを送り、参加者を募り、将棋の指導者は、内子町文化協会にお願いしました。当日は4名の方がご指導くださいました。また、囲碁の方は本会OBの方をお願いしました。参加者は、期待したとおり将棋を希望する児童が多く集まってくれました。反面、囲碁を希望する児童は、残念ながら一人だけになってしまいました。熱心な指導者のおかげで、子どもたちは、大いに将棋や囲碁の楽しさを感じることができたようです。囲碁に挑戦した一人の女子児童も基本の考え方を覚えることができました。来年度も将棋ブームに乗って、更に多くの子どもたちに将棋に参加してもらおうとにも、囲碁の面白さについても情報を発信し、将棋や囲碁の文化をしっかりと伝承できるようにしていきたいと思っています。

ローカルトピックス

ハッチョウトンボ



5円玉にも満たない、日本で最も小さなトンボ。それがハッチョウトンボです。成熟した雄は全体が赤く、雌は黄色地に黒い筋が入り、4月下旬〜9月上旬にかけて姿を見せます

国内では、本州や四国、九州に広く分布していますが、県内では現在、西条市旦之上（庄内小学校区）の湿地でしか確認されていません。近年、開発による生息地の環境変化などで個体数が減り、県はハッチョウトンボを絶滅危惧I類に、湿地を保護

区に指定しました。地元では、庄内ハッチョウトンボ保存会が結成され、生息する湿地の保全活動や調査、地元の子どもを交えた観察会（6月上旬）を行っています。観察会を含め近くにお越しの際には、ハッチョウトンボと共に、近くにある「伊予の三湯」の一つとして古い歴史をもつ本谷温泉もお楽しみください。

文教月報編集協力委員 池田 昭二
西条市庄内小学校長

想いを、つなぐ。地域を、つなぐ。
Challenge & Smile
伊予銀行

特集 私の健康法

私の健康法



新居浜教育会
OB
神野由紀子

現職中はほとんど何の運動もしていなかった私が、退職してから通い始めたのが市の体育館で行っている定期教室。火曜日『やさしいエアロ』、水曜日『ゆがみを治す体操』、木曜日『エンジョイ♡快適』。申し込みも何もいらず、その時間に行って200円払えば、誰でも参加できる。

どの先生も若々しく生き生きとして、「無理はしないで！」でも少しがんばって!!と、私たちをやる気にさせてくれる。きっちり1時間動くと少しづつ硬い身体がほぐれていき、汗と一緒に身体中の悪い物が出て行くようで、とても気持ちがいい。土日の朝は、『インターバル速歩』。3分早足で歩き、

3分ゆっくり歩いて計40分。指導して下さる人によると、ミトコンドリアという物質が増え、体力がアップして、年をとってもなお若々しく健康な体を維持することが可能になるそうだ。詳しい事はよくわからないが、それを信じてとにかく楽しく続けている。

最近、テレビではいろいろな健康法やサプリメントが紹介され、また『恐い○○』というような言葉で病氣への心配を煽るような放送も多く、見ていると不安になる。

しかし、ある番組の最後に大学の先生が「一番大切な事は、ストレスをためないこと。ほとんどの病氣の原因はストレスです。」と言ったのを聞いて、大納得!

結局、自分の出来る事を無理せず楽しくやっていくのが一番の健康法かなと思う。

私の健康法



今治・越智教育会
OB
矢野 重久

私は、50代だったある日突然腰痛に襲われた。これまでも、時々腰痛になることはあったが、この時はレベルが違っていた。起き上がれないのだ。特に原因も思い当たらず、とても不安になった。

この日以来、腰痛がひどくならないように「腰痛防止体操」を毎日している。簡単で取り組みやすく、一定の効果もあるように感じている。

退職してすぐに取り組んだのが「テレビ体操」だ。規則正しい生活リズムを保つのにうってつけである。

「体操は1日2日やっただけでは、何の変化もありませぬ。大切なのは続けること。じわじわと変化が出てくることでしょう。」と講師の先生は言われている。おかげさまで、今では完全に生活の一部になっている。

退職して3年目に、わが家で犬を飼うことになった。それで、「テレビ体操」の後に

犬の散歩が加わった。時を同じくして、友人の誘いもあり、初心者卓球教室に通うことになった。その後、地域の卓球グループに入り週2回楽しく活動している。

犬の散歩は、心の健康づくりにおいても真に有益である。自然の中を愛犬とともに散歩する時、心が解放されるのを感じる。またあいさつがきっかけとなって、地域の人たちと交流が生まれている。なお最新の情報によると、健康寿命を延ばすには、本や雑誌を読むことが大切だそうです。このことも大いに参考にしていきたい。

心を健康に



伊予教育会
OB
田中 元

まだ90歳です。名前(元)に負けずに頑張っています。

私が自己紹介の冒頭に使う言葉です。「まだ」の後には大丈夫です・やれます・など肯定的な言葉が付くからです。「もう」では駄目なのです。

高齢になるにつれて、健康観も、無病息災から一病息災

に変わってきました。病氣も自分のものとして快く受け入れ、気にせず、苦にもしなないで共存するようにになりました。『病氣になっても病人にはならない』のも健康法の一つだと思えます。一病息災の心構えです。

農業も規模を縮小し、枝豆や蚕豆を作って頑張っています。約300㎡の自家菜園では、大根・白菜・イチゴなどは、20種以上の野菜を作り、漬物も多くは自家製です。その他50年来の手造りの庭木や盆栽の摘み入れや水やりなど、雨の降らない日は戸外で動いています。晴耕雨読の毎日です。『明日することが決まっている』ことも、私の健康法の一つです。

2年前から「腕振り体操」を始めました。両腕を揃えて肩の高さまで上げ(指を開き手の平は内向き)勢いよく後ろへ振り出し、反動を利用して元の位置に戻します。健康維持には300回程度、病氣治療のためには2,000回程度と言われています。私は今500回を続けています。

体の健康も大切ですが、心の健康こそ本当の健康だと思っています。人生の最後までで心楽しく、いきいきと生き



抜いていきたいものです。

私の健康法？



西予市石城小学校 校長 兵頭 茂博

「健康」について考えるようになったのは、約30年前。血液検査で肝機能の一つ(γ-GTP)に赤いラインが入っていたからです。当時の校長先生に、

「これは何ですか？」と尋ねると、

「兵頭君、これは酒を飲み過ぎているということだ。私は君以上の数値だ。」

と言われました。それ以来、ラインの色は赤から青に変わることがありましたが、私を悩ませている数値です。

他にも気になる数値はあるのですが、なかなか改善に

は至っていません。しかし、「何とかしよう」という気持ちがあります。そのため試していること、これから試そうと思っていることを列記させていただきます。

サプリメントの摂取、ウォーキング、ゆつくりと入浴(休みの日は公衆浴場へ)、アルコールを減らす、よく咀嚼して食べる等です。

しかし、何より大切なのは、身体が悲鳴を上げかけていると感じた時は、無理をせずいたわってあげることだと思っています。悩み事はありますが、できるだけ笑顔をつくるように努力しています。また、周囲の人と笑いを交えてお話をすることも、大切だと思っています。

今回の原稿依頼を受けて、高齢化社会をしっかりと生き抜くために、我が子に多くの負担をかけないために、もう少し生活を見直してみようと思

いました。

私の健康法

ただ今ダイエット中



南宇和教育会OB 少 林 法子

漬物や干物なんかがあると、2合のご飯もペロリと平らげちゃう、今も食欲旺盛な私。日頃の不摂生がたたって、退職前にして、膝痛でまともに歩くことさえできなくなりました。膝内の半月板も軟骨も

ほぼないとのこと。医者からは筋肉つける、体重落せと言われ続ける日々。健康診断では、コレステロールも糖代謝も引つかかって薬を飲み始めていますし、というわけで必要に迫られ、できることは全てやってみようと決意しました。

目標は体重15キロ減(30代の体重)、体脂肪率20%台、薬を不要にするの三つです。方法は、運動と食事管理、といたってノーマル。病院でのリハビリの他、先輩からの情報をもとに膝痛の自分にもできる3種の運動：ヨガ、水泳、筋トレ(カーブス)を選

択し、毎日どれかを行うことにしました。3種を組合せたおかげで、体幹や心肺機能の強化、関節の柔軟性維持、自律神経の正常化など、全身がまんべんなく鍛えられているようです。

食事管理では、タンパク質摂取と炭水化物の制限に心掛け、指導に従って毎朝体重を測定しました。やってみるとそんなにしんどくはないです。このルールなら朝からステーキを食べることも可能。また宴会の際は思い切り楽しんでいきます。大食いした翌日節制さえすれば、体重はコントロールできます。

6か月たった今、体重14キロ減、階段の昇降が可能になり、薬不要の診断もできました。何より、自分の体をよく理解することができました。半面、困ったこともありま

す。その1、全てのスカートとズボンが合わなくなつた。なんと不経済！その2、病

気と間違われる。毎回説明が必要で…。

体力が落ちてきてるな…と感じるあなた、早めの対応をお勧めします。さらに、体力づくり励む中で仲間がで

き、新しい人間関係が広がる楽しさも味わえます。

祝 受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章(高齢者叙勲)

手島 繁光様 88歳 元新居浜市立宮西小学校長

西岡 圭造様 88歳 元城川町立城川西中学校長

西田 友三様 88歳 元久万町立明神小学校長

正岡 栞様 88歳 元菊間町立歌仙小学校長

新居浜市

西予市

久万高原町

今治市

冠婚葬祭事業 (株)ベルモニーのご案内

愛媛県学校生協は(株)ベルモニーと提携店契約を結んでおります。冠婚葬祭のご利用お申し込みの際に学校名と組合員様のお名前をお伝え頂きますと、割引などの特典が受けられます。

(他団体との併用はできません。)

お問い合わせは

愛媛県学校生協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生活協同組合



あんしんむすぶ

教職員共済生協

- 死亡・入院・特定の病気 3つの「もしも」に備えて
- 予期せぬ火災・住宅災害・自然災害に備えて
- 日常のさまざまなケガや賠償事故にも対応

トリプルガード

火災共済
自然災害共済

レスキュースリー



資料請求は下記へ。お気軽にご連絡ください。

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所
〒790-8545 松山市祝谷町1-5-33 (愛媛文教会館内)
☎089-998-2141 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>

特集 新任者の声

平成30年度小中学校の新規採用教職員は合計323人でした。内訳は、小学校216人、中学校107人で、教諭が小学校193人、中学校98人、養護教諭が合計21人、栄養教諭が合計3人、事務職員が合計8人です。

教職経験が初めてという初任者も不安を乗り越え、教育現場に若い息吹を吹き込んでくれているものと思います。学校現場での先輩・後輩、OBも含めての教職員仲間としての先輩・後輩、共に歩み、育つてゆくことを願っています。

すてきな出会い



川小 生論 市教 西条 来 恵子

私は小学校の卒業文集に、将来の夢は小学校か幼稚園の先生と書いた記憶が今でもあります。しかし、採用試験になかなか合格できず、講師の

ままでもいいかなと、教諭になることを諦めていました。そんな私の背中をもう一度押してくださいました先生のおかげで、講師から教諭になることができました。合格を喜んでくださった先生方、今まで未熟だった私を温かく、時には厳しくご指導してくださいました先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。私たちの仕事は一人で行うものではなく、たくさんの方の先生方と協力し合いながら行うものだと思います。協力し、切磋琢磨する中で、よりよい方法が見つかり、児童により教育が行えると思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに、日々精進していきたいです。

現在は、2年生の担任をしています。初任者研修が始まった頃は、担任不在となる学級が正直心配でした。しかし、研修の翌日、児童が最初に報告してくれるのは、私が食べられなかった給食のことです。楽しそうに報告してくる児童を見ると、これからはあまり心配しなくても大丈夫かなと思えてきました。

た。児童も教師も明るく、たくさん笑い合える学級にしていきたいです。素敵な先生方、児童たちに出会えて幸せです。

新任者の声



川中 市教 新居 池田 穂乃香

教員になってからの10か月は、息つく暇もないほどに忙しく、あつという間に過ぎていきました。

特に、新規採用教員として実際に勤務を始めた4月は、右も左も分からず、周りの動きを見てついていくことに必死でした。その日1日に何をしなければならぬのかを考え、こなすことに精一杯で、先を見通した教材研究や、授業の振り返りをする余裕もなく日々が過ぎていきました。授業の途中で心が折れそうになったことや、授業が終わってからの、自分の不甲斐なさに泣きそうになって学年室に帰ったことが多々あります。それでも、生徒や、先生方の温かさに支えられて、今日まで過ごすことができました。

2学期に入ってから、少し余裕ができ、授業中に教室全体に目を向けることができている。挙手はしていかないけれど発表したような生徒、自信はないけれど頑張っている生徒、生徒の様々な表情を見て、気持ちよく取りながら授業を進められていることは、自分の成長した部分だと感じています。辛いこと、苦しいことはもちろんあるけれど、それにも勝るくらい充実していて、楽しく成長していきたい、と思う毎日です。今年度も終わりに近づいていますが、この1年で学んだたくさんのお話を大切にし、来年度へ生かしていきたいと思っています。

子どもの素晴らしさ



小 米論 市教 松山 岡村 陽子

私はこの春、初任者として小学校3年生の学級担任になりました。昨年は非常勤講師であったため、初めての学級担任です。期待と不安で緊張した始業式がつい昨日のこと

のように思い出されます。あれから約8か月間、初めてだらけの環境で日々悩みながらも子どもたちに向き合っています。至らないことばかりですが、子どもの優しく素直な心や屈託のない笑顔に、いつも元気をもらっています。1日があつという間に過ぎていきますが、子どもたちの成長を見逃すまいとする毎日です。

現在、私の学級では長縄の8の字跳びに挑戦しています。ある日、跳ぶのが苦手な子ども数名と練習をしていると、自然と学級の子もたちが集まり、励ましの声を掛け、跳ぶタイミングを教え始めました。跳べた時にはハイタッチをして喜びを共有する姿にとっても感動しました。子どもたちのつくり出す一体感や、集団が一つになるパワーの大きさを感じました。練習を繰り返すうちに、学習中でも、友達の意見を尊重する姿勢や、時には我慢する態度が育っているように思います。子どもの素晴らしさを感じた出来事でした。

初任者としての1年間もあつとわがやです。まだまだ未熟で学ぶことばかりです。周りの先生方にも支えていただき、様々なことを吸収しながら

ら、子どもたちに寄り添い、一緒に悩み、楽しみ、成長できる教師でありたいと思います。

幸せな悩み



伊予市双海中海
教諭 渡部 真平

正門から下る一本道が海へと続いている。ちょうどその先で、鮮やかな夕日が水平線に沈んでいる。その美しさに感激し、思わずカメラを構えたのは、4月のことである。気が付けば、もう12月。夕日が沈む位置はすっかり変わってしまった。正門からあの夕日を見ることはできない。私とはというと、4月から変わらぬ毎日を送っている。相変わらず授業に悪戦苦闘し、「教える」ということへの悩みが尽きない毎日である。先日、ある生徒の評定のことで頭を悩ませていた。すると、S先生も同じように悩まれていた。S先生は、その生徒への思いを語られた。(僭越ながら)私も思いを語った。ひとしきり語り合った後、S先生は、「幸せだな

あ、こういう話ができるのは」とつぶやかれた。私は、はっとした。「教える」ということへの悩みは、「幸せな悩み」である。損得や利害や善悪を超えた、どこまでも前向きな悩みである。「幸せな悩み」の先に、どんな「答え」を出し続けられるのだろうか。苦しいことには違いないのだけれど、楽しみでもある。先のことばかり考えていてはいけない。ひとまず、また一本道の先に夕日が沈む頃に、少しでも成長できていればよいのだが――。

新任者の声



大洲市喜多小
教諭 曾根 さやか

新任者として赴任した喜多小学校。講師の頃にも勤めており、三度目になり、とても縁を感じます。仕事と子育ての両立は思っていた以上に大変ですが、笑顔いっぱい級の子どもたち、先生方、家族に支えられ、充実した毎を送っています。

1学期には、運動会があり

ました。表現の指導を担当し、大人数を一齐に指導する難しさを感じました。どのように伝えたら子どもたちが動けるのか、どういう指示をしたら効果的に指導できるのかな。先生方にアドバイスを頂きながら進めることができ、本番では、子どもたちの姿に感動しました。7月には豪雨災害があり、被災した家庭も多数ありました。大変な状況の中、子どもたちは、学校へ来て、一生懸命に学習に取り組んだり楽しく遊んだりする姿に、子どもたちの強さを感じ、子どもたちに力ももらいました。

から学ぶ」という姿勢を日々大切にしてお過ごししていきたいと思えます。

学校っていいよな



宇和島市城南中
教諭 富永 尚之

辞令交付式で教員としてのスタートを切って早、8か月が過ぎました。中学時代からの目標であった教員になるために長い道のりでした。今年度は、1年生の学級担任を持たせてもらい、充実した日々を過ごしています。朝の「おはようございます」から「さようなら」まで、あつという間に終わってしまいう日々ですが、子どもたちと過ごす時間をかみしめながら毎日を送っています。つい最近、このクラスも後、数か月で終わってしまうのかと考えるとなんだか寂しい気持ちになっていました。

「大丈夫か？」と思っていたが、本番が近づくにつれて歌声もまとまりはじめ、気持ちも一つになってきているという心地の良い感覚になってきました。学校一の賞を獲得することはできませんでしたが、一生懸命な子どもたちの姿に、本当に感動させられました。これだけ私に感動を与えてくれる生徒に対して、一つでも何か残してあげられるような教員になっていきたいです。

2学期は、授業参観や授業研究が続きました。道徳科の研究授業では、子どもたちの素直な気持ちを引き出し、道徳的価値に気付かせる難しさに悩みました。しかし、子どもたちの様子を思い浮かべながら教材研究をしていくことがとても楽しく感じました。授業参観では、先輩の先生方の授業をたくさん見せて頂き、発問、板書、子どもたちへの関わり方など、全てが大変勉強になりました。

新任者として、子どもたちや先輩方から学んだことを自分の財産として、子どもたちに返していけるよう、「自分

積立年金制度

明治安田生命は、みなさまとのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法人 高松市番町1-7-5
営業推進部 TEL087-821-6811

ふるさとスケッチ

No.419

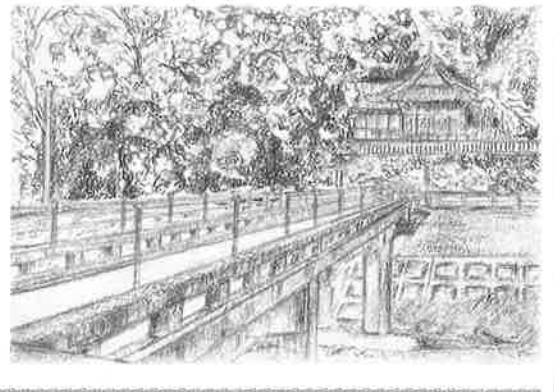
鬼北町 弓瀧橋



鬼北町広見中
教諭 増原 智恵

弓瀧神社のたもとにある弓瀧橋。この橋を見ると、ある女子生徒のことを思い出す。

彼女が中1の夏、宿題でこの橋を描いていた。味のある色合いで、父親にアドバイスしてもらったと言っていた。彼女とは縁があり、中2、中3と学担をした。中2では、浴衣を着て、弓瀧神社の夏祭りに行く話を聞かせてくれた。中3の受験前、夜、家庭訪問をした時、彼女は帰り際に、お礼を言ってお風呂を渡してくれた。教え子の幸せを弓瀧様に祈りながら、スケッチした。



ご冥福をお祈りします

喜安 隆様	97歳	伊予郡松前町北川原(〇)西三	30	8	22
中川 年子様	88歳	宇和島市愛宕町一丁目一三	30	11	14
渡部 安良様	88歳	松山市安城寺町二七西三	30	11	22
藤原 正明様	91歳	今治市波止浜二七一	30	11	22
中岡 芳子様	89歳	松山市生石町五二〇	30	11	22
高橋 雅邦様	96歳	西条市周布三三〇	30	11	24
西原 道幸様	80歳	新居浜市中村四八〇	30	11	24
高岡 和司様	91歳	西予市明浜町俵津二九一	30	11	27
宇都宮 鈴子様	80歳	西予市三瓶町和泉甲六七一	30	11	28
善家 徳雄様	88歳	宇和島市三間町古藤田三三	30	11	29
松垣 要様	94歳	今治市吉海町福田七七	30	12	7
諏訪 秀明様	85歳	今治市桜井団地二二二六	30	12	9
大野 徹雄様	84歳	西予市野村町野村西一〇九	30	12	12
石川 唯二郎様	97歳	四国中央市上分町二九七	30	12	12
南條 勲様	86歳	今治市朝倉下甲五五三	30	12	14
橋本 和彰様	88歳	西予市三瓶町朝立二二二三	30	12	19
玉井 恵美子様	94歳	松山市北土居五八八	30	12	20
永井 宏佳様	81歳	松山市中西内五八	30	12	21
柳瀬 潔様	91歳	今治市宮下町二二四	30	12	21
竹雅 紘平様	75歳	松山市朝美二丁目六〇	30	12	24

お知らせ

◆俳画・水墨画教室の活動について

愛媛県教育会「俳画・水墨画教室」は、大倉可貴先生のご指導の下10名の受講生で活動しています。

毎月2回(第1・第3木曜日の午前10時~12時)、和気あいあいの雰囲気の中で作品制作に頑張っています。完成した作品は、本報で紹介したり、当会館のロビーに展示したりしていますか



ら、どうぞご覧ください。興味のある方は遠慮なく、左記までご連絡ください。【お問い合わせ】愛媛県教育会事務局 (089-945-2511)

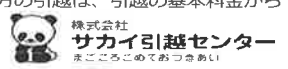


◆文教ロビー展

会館1階ロビーにおいて、「大久保るみ子ー童画作品展」を開催中です。2月末までお楽しみいただくことができます。新春を、童(わらべ)たちの絵で温まりませんか。お越しくださいませ。玄

お得な引越のご案内

愛媛県学校生協は(株)サカイ引越センターと提携をしております。学校生協組合員様とご家族の方の引越は、引越の基本料金から20%割引いたします。



お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会 電話(089)925-0555 または 都市学校生活協同組合



関ロビーにて、やわらかなカラーでお待ちいたしております。